

愛知県 平成 24～26 年度報告

1. 支援体制

- ・支援拠点機関 名古屋市総合リハビリテーションセンター 電話 (052) 835-3811
- ・支援コーディネーター 3人

2. 拠点機関数値実績

年度	24	25	26
(1) 拠点機関相談数 (件)			
来所	1689	1483	1595
訪問	53	74	43
電話連絡等	583	555	806
(2) 拠点機関連携数 (件)			
来所	108	106	172
訪問	58	96	92
電話連絡等	404	333	672
(3) 連絡会・協議会 (回)			
主催	3	3	2
講師等協力	—	3	1
(4) 研修会・講習会 (回)			
主催	9	5	1
講師等協力	40	29	33

3. 自立支援法施設数値実績

年度	24	25	26
(1) 自立訓練利用者 (人) / 施設入所支援 50 名 (うち生活訓練定員 11 名)			
利用者	122	132	109
(うち身障手帳未所持)	(44)	(32)	(39)
(うちTBI・うちCVA)	(31・66)	(31・81)	(18・70)
退所者	65	90	65
(2) 就労移行支援利用者 (人) / 就労移行支援 40 名			
利用者	106	102	98
(うち身障手帳未所持)	(58)	(63)	(61)
退所者	66	65	57
(うち身障手帳未所持)	(36)	(38)	(37)
退所者中一般就労	45	43	46
(うち身障手帳未所持)	(26)	(28)	(31)

4. 主な活動

【24年度】

- ① 愛知県高次脳機能障害支援普及事業連携調整委員会
H24/9/12 委員（18名：拠点機関・愛知県・名古屋市・関係機関・家族会・学識経験者）
H25/3/15 委員（同）
- ② 厚生労働科学研究東海ブロック連絡協議会（主催県：愛知県） H25/1/25
東海4県の課題・方針と意見交換、研修会—生活版ジョブコーチ支援）
- ③ 脳外傷リハビリテーション講習会 H24/11/3
第1部：「解体新書」をめぐって（深川和利、阿部順子、柴本礼）
第2部：シンポジウム—当事者の活動を考える（当事者、当事者活動支援者）
- ④ 主な研修会講師等（愛知県内）
 - ・名古屋市障害福祉事務担当者会
 - ・愛知県保健所精神保健福祉関係職員業務研修会
 - ・愛知県介護ネット研修会
 - ・NHKハートフォーラム 「見えない障害」を支援する
 - ・ABIA 家族相談会、サポートセンター笑い太鼓家族勉強会
 - ・脳卒中認定看護師教育課程研修
 - ・医療スタッフのためのスキルアップセミナー「高次脳機能障害の看護」
 - ・名古屋市中央看護専門学校
- ⑤ その他の主な活動
 - ◇新規活動
 - ・重点圏域研修
—尾張西部圏域高次脳機能障害研修—概論、生活訓練・職能訓練、事例検討
—半田市社会福祉協議会福祉従事者研修—認知訓練、生活訓練、職能訓練、地域支援、家族会活動（5回）
 - ・愛知県圏域会議での高次脳への周知
 - ◇継続的活動
 - ・名古屋リハ高次脳機能障害見学・研修会（県内病院関係対象）
 - ・高次脳機能障害関連施設連絡会
 - ・高次脳機能障害関連団体の運営施設への訓練委託
 - ◇ほか
 - ・見学受け入れ
 - ・出版：名古屋リハリーフレット英訳版作成、高次脳機能障害児の冊子作成
生活版ジョブコーチ冊子（ガイドブック編、事例編／日本脳外傷友の会との協力）

【25年度】

- ① 愛知県高次脳機能障害支援普及事業連携調整委員会
H25/9/20 委員（18名：拠点機関・愛知県・名古屋市・関係機関・家族会・学識経験者）
H26/3/19 委員（同）
- ② 脳外傷リハビリテーション講習会/ H25/11/2 参加：248名
第1部 高次脳機能障害者の支援～家族会の立ち上げから現在まで（大橋正洋氏）
第2部 当事者家族による体験談
- ③ 主な研修会講師等（愛知県内）
 - ・名古屋市障害福祉事務担当者会
 - ・愛知県相談支援従事者実務者研修

- ・ 大府市福祉・教育勉強会
- ・ 豊田市関係機関（介護保険）向け研修会
- ・ 愛知県 SW 協会尾張北部第一ブロック研修会
- ・ ABIA 家族勉強会、笑い太鼓家族勉強会
- ・ 愛知県看護協会講習会／
- ・ 名古屋市中央看護専門学校

④ その他の主な活動

◇新規活動

- ・ 尾張西部圏域高次脳機能障害研修（24、25 年度）
- ・ 愛知県圏域会議での高次脳の周知（24、25 年度）

◇継続的活動

- ・ 名古屋リハ高次脳機能障害見学・研修会（県内病院関係対象）
- ・ 高次脳機能障害関連施設連絡会
- ・ 高次脳機能障害関連団体の運営施設への訓練委託

◇ほか

- ・ 見学受け入れ
- ・ 出版：名古屋リハリーフレット英訳版（発行）、高次脳機能障害児の冊子（発刊）

【26 年度】

- ① 高次脳機能障害支援普及事業相談支援体制連携調整委員会
H26/9/17 委員（18 名：拠点機関・愛知県・名古屋市・関係機関・家族会・学識経験者）
H27/3/18 委員（同）
- ② 講習会・研修会
- ・ 脳外傷リハビリテーション講習会 H26/11/1 参加：284 名
第 1 部 高次脳機能障害者支援の権利擁護（大輪典子氏）
第 2 部 シンポジウム 高次脳機能障害と社会的トラブル
- ③ 主な研修会講師等（愛知県内）
- ・ 名古屋市障害福祉事務担当者会議
 - ・ 愛知県相談支援従事者現任研修
 - ・ 豊田市介護保険職員研修、豊田市自立支援協議会高次脳機能障がいセミナー
 - ・ ABIA 家族相談会
 - ・ 名市大神経系コース特別講演
 - ・ 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程
 - ・ 愛知県看護研修センター看護職員研修
 - ・ 名古屋市中央看護専門学校
- ④ その他の主な活動
- ◇継続的活動
- ・ 名古屋リハ高次脳機能障害見学・研修会（26 年度は中断）
 - ・ 高次脳機能障害関連施設連絡会
 - ・ 高次脳機能障害関連団体の運営施設への訓練委託
- ◇ほか
- ・ 名古屋リハ機能の拡大＝瑞穂区障害者基幹相談支援センター設置、地域活動支援センター「つきみがおか」開設
 - ・ 見学受け入れ
 - ・ 出版：NANDA-I の看護診断にもとづく高次脳機能障害の標準看護計画

5. 今後の課題と方針

(1) 課題

- ・支援が必要な高次脳機能障害者の累積的增加—脳外傷者は障害の特性から顕著
- ・生活基盤（生活管理部分）の支援が必要なケースの増加—家族の高齢化などによる
- ・相談の多様化＝“行政的”診断基準に合わない（精神疾患、高齢者）や診断書希望のみ

(2) 方針

増え続ける高次脳機能障害者への訓練・支援体制の充実

① 地域の支援力の強化

課題に対応するため、名古屋リハの訓練・支援システムの社会復帰支援部分を地域で担う体制の拡充。そのため、これまでの地道な関わり（愛知県圏域会議での周知、重点圏域研修、計画相談の制度化への対応）を踏まえ、第1支援層（図2）との協力関係を深めていく。具体的には下記。

- ・制度化された計画相談策定などについて、ケースを通じた具体的な助言の積み上げにより、地域の相談支援事業所とのいっそうの信頼関係の構築を図っていく
- ・高次脳機能障害地域生活援助者（通称：生活版 JC）養成研究事業の再度の実施/H27、28年度—相談支援事業所を対象に、高次脳機能障害者支援のあり方（他の障害との相違点、共通点なども踏まえて）を明らかにし、有効な方法を検討、周知を図ることをめざす。

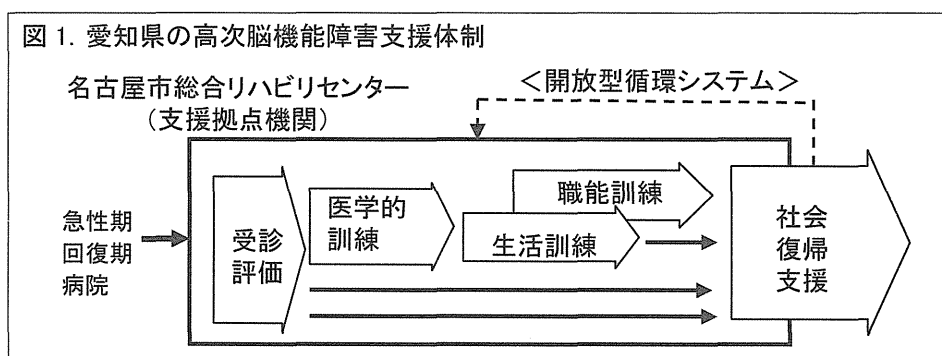
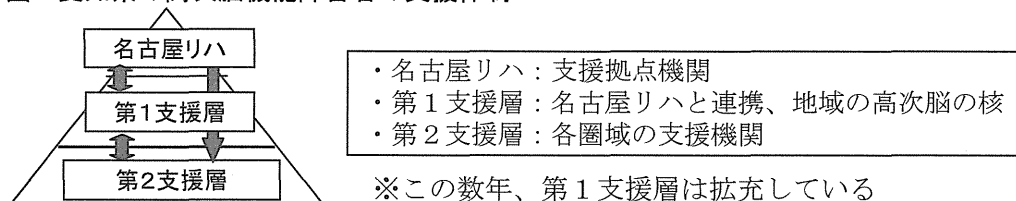


図 2. 愛知県の高次脳機能障害者の支援体制



② その他

- ・名古屋リハの訓練機能の拡充＝27年度から生活支援課の身障手帳未所持者の訓練希望増から定員変更（機能訓練 30名→25名、生活訓練 11名→16名）、就労支援課の訓練希望増から定員増（40名→46名）
- ・当事者団体との連携＝ABIA（愛知脳損傷協議会/NPO 法人みずほ、NPO 法人笑太鼓、サークルフレンズ）との恒常的な連携強化
- ・啓発活動＝脳外傷リハビリテーション講習会の開催、研修会講師（行政、支援機関、当事者団体、医療関係）、リーフレット改訂版の作成、名古屋リハ見学・研修会の実施

三重県 平成 24～26 年度報告

1. 支援体制

- ・支援拠点機関 三重県身体障害者総合福祉センター（電話 059-231-0037）
- ・支援コーディネーター数 1.5 人

2. 拠点機関数値実績

24 年度

支援拠点機関相談数	来所 374 人	訪問 328 人	連絡等 599 人	
支援拠点機関連携数	来所 46 件	訪問 219 件	連絡等 644 件	
支援拠点機関活動実績		連絡会・協議会	研修会・講習会	ほか（ケース会議、勉強会・家族交流会等）
	主催	2 回	2 回	6 回
	講師等協力	0 回	3 回	51 回
その他活動	冊子、ウェブサイト、執筆ほか	「高次脳機能障がいとは??」「高次脳機能障害者の制度活用の手引き」「高次脳機能障がいって、なあに?」（小児用パンフレット）の配布。損害保険協会助成金により、「高次脳機能障害支援経過手帳」の作成・配布。		

25 年度

支援拠点機関相談数	来所 334 人	訪問 429 人	連絡等 689 人	
支援拠点機関連携数	来所 60 件	訪問 346 件	連絡等 743 件	
支援拠点機関活動実績		連絡会・協議会	研修会・講習会	ほか（ケース会議、勉強会・家族交流会等）
	主催	1 回	0 回	4 回
	講師等協力	0 回	8 回	35 回
その他活動	冊子、ウェブサイト、執筆ほか	「高次脳機能障がいとは??」「高次脳機能障害者の制度活用の手引き」「高次脳機能障がいって、なあに?」（小児用パンフレット）の配布。損害保険協会研究助成事業により、「高次脳機能障害支援経過手帳」の作成。		

26 年度

支援拠点機関相談数	来所 308 人	訪問 328 人	連絡等 534 件	
支援拠点機関連携数	来所 98 件	訪問 236 件	連絡等 569 件	
支援拠点機関活動実績		連絡会・協議会	研修会・講習会	ほか（ケース会議、勉強会・家族交流会等）
	主催	2 回	2 回	1 回
	講師等協力	0 回	9 回	53 回
その他活動	冊子、ウェブサイト、執筆ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット「高次脳機能障害者の制度活用の手引き」 ・リーフレット「高次脳機能障がいとは??」 ・チラシ「高次脳機能障がいって、なあに?」（小児用） ・「高次脳機能障害支援経過手帳」の普及、配布。 		

3. 実績

【平成 24 年度】

「主催」

- ・ 高次脳機能障害者地域支援セミナー
 - ①平成 24 年 6 月 30 日
 - ②平成 25 年 1 月 19 日
- ・ 高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会
 - ①平成 24 年 7 月 7 日
 - ②平成 25 年 3 月 14 日
- ・ 高次脳機能障害ケースカンファレンス
(当センターの会議に拠点病院医師が参加 3 回)

「協力」

- ・ 高次脳機能障害者（児）リハビリテーション講習会
 - ①平成 24 年 10 月 28 日
- ・ ケースカンファレンス（施設・病院・相談支援センター・会社など）
- ・ 家族定例会（北勢地区 10 回、中勢地区 3 回開催）
- ・ 県相談支援部会（3 障害の相談支援事業所の会議に参加し、関係機関との連携と高次脳機能障害の普及活動を行う）
- ・ 犯罪被害者総合支援センター
- ・ 作業所

「視察対応」

- ・ 木沢記念病院からの視察受け入れ

【平成 25 年度】

「主催」

- ・ 高次脳機能障害者地域支援セミナー
 - ①平成 26 年 2 月 2 日
- ・ 高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会
 - ①平成 25 年 7 月 19 日
 - ②平成 26 年 3 月 7 日
- ・ 高次脳機能障害ケースカンファレンス
(当センターの会議に拠点病院医師が参加 4 回)

「協力」

- ・ 高次脳機能障害者（児）リハビリテーション講習会
 - ①平成 25 年 9 月 16 日
- ・ ケースカンファレンス（施設・病院・相談支援センター・企業など）
- ・ 県相談支援部会（3 障害の相談支援事業所の会議に参加し、関係機関との連携と高次脳機能障害の普及活動を行う）
- ・ 愛媛県高次脳機能障害支援拠点機関「高次脳機能障害 三重県モデルに関する報告・シンポジウム」
- ・ 紀北地域障がい者総合相談支援センター「高次脳機能障害研修」
- ・ 志摩市社会福祉協議会「高次脳機能障害研修」
- ・ 市主催の相談会
- ・ 家族定例会（北勢地区 9 回、中勢地区 3 回開催）

【平成 26 年度】

「主催」

- ・高次脳機能障害者地域支援セミナー
 - ①平成 26 年 11 月 15 日
 - ②平成 27 年 2 月 10 日
- ・高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会
 - ①平成 26 年 7 月 18 日
 - ②平成 27 年 3 月 13 日

「協力」

- ・高次脳機能障害者（児）リハビリテーション講習会
 - ①平成 26 年 11 月 15 日
- ・高次脳機能障害者（児）リハビリテーション講習会
- ・ケースカンファレンス（施設・病院・相談支援センター・企業など）
- ・家族定例会（北勢地区 9 回、中勢地区 3 回開催）
- ・県相談支援部会（3 障害の相談支援事業所の会議に参加し、関係機関との連携と高次脳機能障害の普及活動を行う）
- ・三重県障害者相談支援従事者初任者研修
- ・犯罪被害者総合支援センター研修会、鈴鹿
亀山圏域自立支援協議会研修会へ協力
- ・三重県障害者自立支援協議会傘下の療育部会・就労支援部会・相談支援部会へ参加。
- ・ケースカンファレンス（施設・病院・相談支援センター・企業など）。
- ・伊賀市障がい福祉研修
- ・松阪多気圏域計画相談事業所実務者研修
- ・市主催の相談会
- ・家族定例会（北勢地区 10 回、中勢地区 6 回開催）

4. 今後の課題

○継続的な啓発、地域に対する障害理解と支援普及

適切な支援につなげるため支援者ニーズに応じた研修の開催、圏域障害者相談支援センターや協議会に積極的に働きかけ障害理解や支援方法の普及に努める。

○相談支援体制の整備

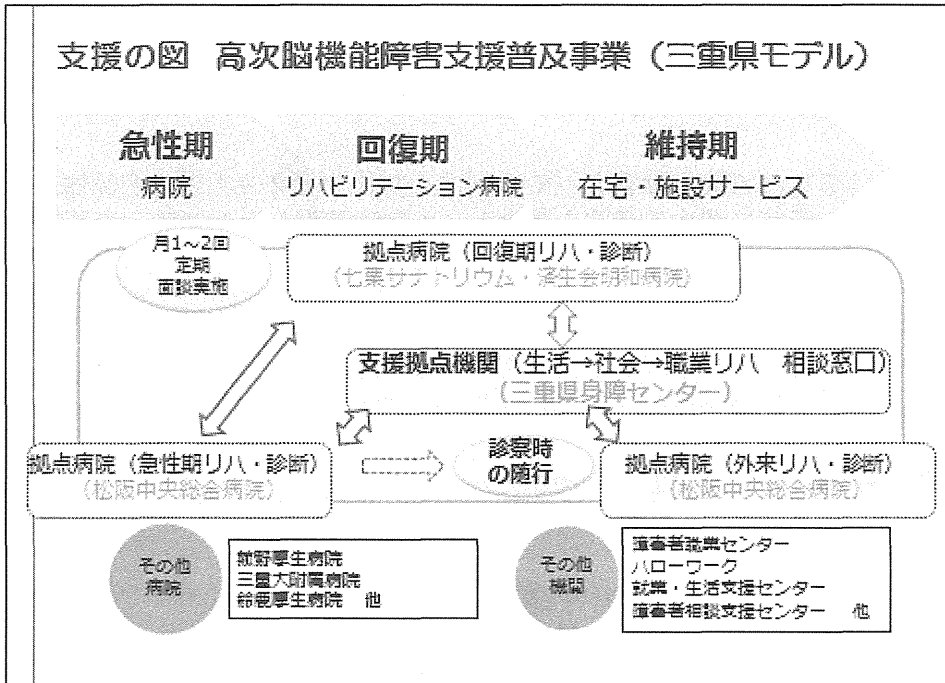
計画相談の完全実施に鑑み、特定相談支援事業所に障害の理解促進が不可欠だ。圏域の障害者相談支援センターの協力と連携体制を構築し、研修や事例検討会の実施、助言指導・連携協力体制を強化する仕組みづくりが必要である。圏域での高次脳機能障害連携会議を開催し、拠点機関がスーパーバイザーとなれるような体制を整えていく。

○社会的行動障害への支援、連携

一般的な対応方法の伝達や個々のケースに対応可能となるように日中活動の受け入れ機関の確保が不十分である。また保健所や精神科医療等との関わりなど、精神保健分野に対しての普及啓発を検討したい。

○就労支援

三重県は障害者雇用率や定着率も低い。就労支援継続B型からのステップアップが可能となるよう、地域の障害者就業・生活支援センターに対しても障害理解をより啓発していく必要がある。高次脳機能障害者の雇用促進と職業安定に貢献している企業に対し、表彰を行うことも検討中である。



厚生労働科学研究費補助金
こころの健康科学研究事業
平成 24 年度～平成 26 年度 総括研究報告書

高次脳機能障害者の地域生活支援の推進に関する研究

分担研究者 野村忠雄
高志リハビリテーション病院病院長

研究要旨

北陸ブロックのとりまとめを行い、富山県、石川県、福井県の3県に設置された地方支援拠点機関および地方自治体との北陸ブロック会議を開催し、各県の高次脳機能障害支援普及事業の円滑なる実施を図った。その結果、県民における高次脳機能障害の理解が著しく高くなるとともに、支援スタッフの充実が図られた。

A. 研究目的

北陸ブロックにおける高次脳機能障害者への専門的な相談支援のあり方、関係機関との連携のあり方など支援ネットワークの構築に関する手法を検討し、さらに充実したシステムを構築することを目的とする。

B. 研究方法

1. 北陸ブロック会議の開催：富山県、石川県、福井県の高次脳機能障害支援センターが、輪番制で北陸ブロック会議および講演会を開催し、北陸3県での高次脳機能障害支援ネットワークを強化する。構築する。
2. 各県での取り組みに対して助言・支援を行う。

(倫理面での配慮)

調査研究は所属する施設の倫理委員会の承認を経て実施する。調査対象者の個人情報等に係わるプライバシーの保護ならびに如何なる不利益も受けないように十分配慮した。

C. 研究結果

1. 北陸ブロック会議および講演会の開催

	平成 24 年	平成 25 年度	平成 26 年度
日時 場所	平成 24 年 8 月 25 日 (土) 9:30～12:30 サンシップとやま	平成 25 年 7 月 13 日 9:30～12:30 石川県リハビリテーションセンター	平成 26 年 7 月 12 日 9:30～12:30 福井医療短期大学
会議	①各県の現状報告 ②講義「ユビキタスセンサと行動識別による日常行動の評価・支援」 ③今後の課題等について協議、情報交換 北陸三県各支援センター職員・行政担当者、助言者 計 25 名	①各県の現状報告 ③各県事例検討 ④今後の課題等について協議、情報交換 北陸三県各支援センター職員・行政担当者、助言者 計 25 名	①各県から現状報告 ②事例検討 (石川県・福井県) ③学童期・青年期にある高次脳機能障害者に対する総合的な支援に関する研究 (富山県) ④今後の課題等について協議、情報交換 北陸三県各支援センター職員・行政担当者、助言者 計 27 名
講演会	講師 イラストレーター (当事者ご家族) 柴本 礼 氏 演題「高次脳機能障害者が生きやすい社会に～他人事ではない高次脳機能障害その理解と支援～」 参加者 122 名	講師 高次脳機能障害ピアカウンセラー 佐々木 智賀子 氏 演題「光をつかみ取るまで～高次脳機能障害支援者として、家族として～」 参加者 計 81 名	講師 イラストレーター「高次脳機能障害 コウジ村」柴本 礼 氏 演題「高次脳機能障害の夫との 10 年～最近考えること～」 参加者 計 156 名

2. 各県の事業および研究報告

1) 富山県高次脳機能障害者支援センター事業実績

支援拠点機関名	富山県高次脳機能障害者支援センター（富山県高志リハビリテーション病院内） Tel.076-438-2233 平成19年1月15日開設		
支援コーディネーター(職種)	医師、臨床心理士、作業療法士、ソーシャルワーカー、その他（更生、授産、療護施設職員） 全職員兼務		
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
当事者・家族からの直接相談 (延べ件数)	電話： 228件 来院/来所： 284件 メール・書簡： 17件 その他（訪問・出張・同行等）： 22件 合計 551件	電話： 207件 来院/来所： 269件 メール・書簡： 21件 その他（訪問・出張・同行等）： 34件 合計 531件	電話： 205件 来院/来所： 162件 メール・書簡： 7件 その他（訪問・出張・同行等）： 21件 合計 395件
機関・施設等からの間接相談 (延べ件数)	電話： 174件 来院/来所 46件 メール・書簡 14件 その他（訪問・出張・同行等）： 6件 合計 240件	電話： 140件 来院/来所 37件 メール・書簡・支援パス 12件 その他（訪問・出張・同行等） 4件 合計 193件	電話： 220件 来院/来所 34件 メール・書簡： 3件 支援パス12件 その他（訪問・出張・同行等） 9件 合計 278件
主催した会合	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室（6回） 対象者：家族・当事者 参加人数：延べ79名 ・支援計画策定会議（ケース会議）（47回） 対象者：支援センター構成員 参加者人数：延べ430名 ・高次脳機能障害講演会（1回） 対象者：一般、関係機関職員 参加人数：122名 ・特別講演（研修会）（1回） 対象者：運転免許センター、高志リハビリテーション病院、センター職員、その他 参加人数：39名 ・高次脳機能障害者就労・生活支援ネットワーク会議（2回） 対象者：就労・生活・福祉・教育・関係機関、行政機関、センター職員、助言者 参加者人数：会議 延べ66名、 講義 延べ87名 ・高次脳機能障害者支援センター運営会議（2回） 対象者：運営委員 参加人数：延べ32名 ・平成24年度北陸ブロック連絡協議会 対象者：北陸三県高次脳機能障害者支援事業関係者職員、行政担当者、助言者 参加人数：25名 ・ピアカウンセリング研修（1回） 対象者：支援センター職員 参加人数：10名 ・高次脳機能障害者支援センター相談支援体制連携調整会議（1回） 対象者：相談支援体制連携調整会議委員 参加人数：16名 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室（6回） 対象者：家族・当事者 参加人数：延べ116名 ・ピア・サポート検討会（7回） 対象者：当事者・家族 ピア・サポーター：家族会メンバー・スーパーバイザー ・支援計画策定会議（ケース会議）（48回） 対象者：支援センター構成員 参加者人数：延べ529名 ・高次脳機能障害者専門研修会・講演会（1回） 対象者、参加者人数： 専門研修 関係機関職員80名 講演会 一般、関係機関職員、 139名 ・高次脳機能障害者就労・生活支援ネットワーク会議（2回） 対象者：就労・生活・福祉・教育・関係機関、行政機関、センター職員、助言者 参加者人数：延べ75名 ・北陸ブロック連絡協議会 対象者：北陸三県高次脳機能障害者支援事業関係者職員、行政担当者、助言者 参加人数：25名 ・運営会議（1回） 対象者：支援センター運営委員11名 ・相談支援体制連携調整会議（1回） 対象者：相談支援体制連携調整会議委員、センター職員 25名 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室（6回） 対象者：家族・当事者 参加人数：延べ94名 ・ピア・サポート検討会（9回） 対象者：当事者・家族 ピア・サポーター：家族会メンバー・スーパーバイザー ・支援計画策定会議（ケース会議）（48回） 対象者：支援センター構成員 参加者人数：延べ529名 ・高次脳機能障害者専門研修会・講演会（1回） 専門研修 対象者：関係機関職員、 参加人数：51名 講演会 対象者：一般、参加人数： 104名 ・富山高次脳機能障害者リハビリテーション講習会（1回） 対象者：一般 120名 ・高次脳機能障害者就労・生活支援ネットワーク会議（2回） 対象者：就労・生活・福祉・教育・関係機関、行政機関、センター職員、助言者参加者人数：延べ75名 ・北陸ブロック連絡協議会 対象者：北陸三県高次脳機能障害者支援事業関係者職員、行政担当者、助言者 参加人数：27名 ・障害者の自動車運転共同研究報告会 対象者：県立大学、免許センター他 参加人数：10名 ・運営会議（1回） 対象者：支援センター運営委員 参加人数：14名 ・相談支援体制連携調整会議（1回） 対象者：相談支援体制連携調整会議委員、センター職員 参加人数：23名 ・学童期・青年期にある高次脳機能障害者に対する総合的な支援に関する研究に係る会議（5回） 対象者：企画・ワーキング委員 参加人数：延べ87名

<p>協力した会合</p>	<p>講師協力した会合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度富山県相談支援従事者研修「都道府県地域生活支援事業について」 ・平成 24 年度高岡圏域就労支援ネットワーク会議「高次脳機能障害及び発達障害者の方の就労支援について」 ・ボランティア懇話会（勉強会）「高次脳機能障害について」 ・富山医療福祉専門学校（隣接領域概論）「臨床心理士の業務、高次脳機能障害支援センター業務について」 ・平成 24 年度第 2 回職業リハビリテーション実践セミナー「支援ネットワークの形成とその活用（高次脳機能障害コース）」 ・富山労働局障害者業務担当者研修「高次脳機能障害者の理解」 ・星城大学リハビリテーション研究会「高次脳機能障害のリハビリテーション」 <p>その他運営協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本脳外傷友の会第 12 回全国大会 2012 in とやま（実行委員会、交流会、支援コーディネーター研修会、富山脳外傷リハビリテーション講習会） <p>その他研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度富山圏域就労支援ネットワーク会議 ・平成 24 年度高岡圏域就労支援ネットワーク会議・講演会 ・砺波圏域就労移行支援セミナー 2013 ・福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・第 36 回日本高次脳機能障害学会学術総会、サテライトセミナー ・高次脳機能障害支援普及事業支援コーディネーター全国会議 ・高次脳機能障害支援普及事業支援普及全国連絡協議会 ・高次脳機能障害支援事業関係職員研修会 ・平成 24 年度富山県自立支援協議会専門部会 ・高次脳機能障害支援情報マップ作成事業企画会議 <p>ケース会議への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加件数 5 回 	<p>講師協力した会合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山医療福祉専門学校（隣接領域概論）「臨床心理士の業務、高次脳機能障害支援センター業務について」 ・富山の療育を考える会（恵光学園）「小児期発症の高次脳機能障害者の就労支援の一例」 ・富山県相談支援従事者研修 都道府県地域生活支援事業について「高次脳機能障害者への支援について」 ・第 2 回職業リハビリテーション実践セミナー「支援ネットワークの形成とその活用」 ・第 3 回医療福祉工学研究会「装着型センサを用いた高次脳機能障害者の運転技能評価」 ・富山地方裁判所「高次脳機能障害について」 ・院内勉強会「就労について考える～何が必要なの～」 <p>その他運営協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 10 回富山脳外傷リハビリテーション講習会 <p>その他研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高岡圏域就労支援ネットワーク会議 ・福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・福井県高次脳機能障害関係者研修 ・福井県高次脳機能障害セミナー ・富山圏域就労支援ネットワーク会議 ・富山県障害者雇用推進会議 ・高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会、支援コーディネーター全国会議、高次脳機能障害支援事業関係職員研修会 ・高次脳機能障害支援情報マップ作成事業企画会議 ・日本脳外傷友の会第 13 回全国大会、高次脳機能障がい支援コーディネーター研修会 ・障害者就労支援ネットワーク研修会 ・第 1 回自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究会 ・精神保健福祉法の改正に係る説明会 ・富山県障害者雇用推進会議 <p>ケース会議への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加件数 13 回 	<p>講師協力した会合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山医療福祉専門学校（隣接領域概論）「臨床心理士の業務、高次脳機能障害支援センター業務について」 ・富山県相談支援従事者研修 都道府県地域生活支援事業について「高次脳機能障害支援センターの活動について」 ・職員研修会（富山県精神保健福祉協会 ゆりの木の里）「高次脳機能障害の理解と支援方法について」 ・北陸地区脳神経リハビリテーション看護研究会「高次脳機能障害の症状の基本的な知識を学ぶ」 ・富山県家庭児童相談員連絡協議会「高次脳機能障害と発達障害の特徴と対応について」 ・脳卒中連携合同勉強会「高次脳機能障害患者の運転再開に向けたパネルディスカッション」 ・第 2 回自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究会「教習所との連携、実車評価の実際」 ・院内研修「高次脳機能障害支援センター概要」 <p>その他研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高岡圏域就労支援ネットワーク会議 ・富山圏域就労支援ネットワーク会議 ・リハビリテーション心理職研修会 ・石川県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・福井県高次脳機能障害セミナー ・高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会、支援コーディネーター全国会議、高次脳機能障害支援事業関係職員研修会 ・日本脳外傷友の会第 14 回全国大会、高次脳機能障がい支援コーディネーター研修会 ・日本心理研修センター主催夏季研修会 高次脳機能の基礎と支援 <p>ケース会議への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加件数 13 回
---------------	--	--	--

<p>広報・啓発活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県高次脳機能障害支援センターパンフレット、漫画冊子の配布、小児向けリーフレットの更新 ・ホームページの掲載 ・書籍の貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県高次脳機能障害支援センターパンフレット、リーフレット、漫画冊子の配布 ・ホームページの掲載 ・その他機関からの掲載依頼に協力 ・書籍の貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県高次脳機能障害支援センターパンフレット、リーフレット、漫画冊子配布 ・ガイドブック(「これでわかるちゃ!! 高次脳機能障害」)の配布 ・ホームページの掲載 ・その他機関からの掲載依頼に協力 ・書籍の貸出
<p>調査・情報収集活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当センターの高次脳機能障害者グループ訓練 ・高次脳機能障害者における一般就労とウェクスラー記憶検査の下位項目との関係一職種マップの有用性一 ・遂行機能障害者に対する復職への関わり～傾聴や計画についての教示により作業活動の自己決定が意欲的な行動変化を呈した1例～ ・生活版ジョブコーチ事業 ・自動車運転能力評価に関する研究 ・高次脳機能障害者支援情報マップ作成事業「高次脳機能障害を持つ方の対応に関する調査(1次調査)」 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害者の自動車運転能力評価に関する研究を県立大学工学部、県運転免許センターと共同して実験・調査 ・高次脳機能障害者支援情報マップ作成事業「高次脳機能障害を持つ方の対応に関する調査(2次調査)」 ・ガイドブックの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害者の自動車運転能力評価に関する研究を県立大学工学部、県運転免許センターと共同して実験・調査 ・学童期・青年期にある高次脳機能障害者に対する総合的な支援に関する研究 ・PCRSによる病識評価
<p>診断評価・リハビリテーション等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県高志リハビリテーション病院にて実施 ・認知グループ療法(24回) 実数13件(見学も含む)、延べ101件 	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県高志リハビリテーション病院にて実施 ・認知グループ療法(25回) 実数14件(見学も含む) 延べ125件 ・生活版ジョブコーチ事業 実数3件、延べ10件 	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県高志リハビリテーション病院にて実施 ・認知グループ療法(27回) 実数14件(見学も含む) 延べ158件 ※10月～働くためのグループ訓練(心理療法)、いきいきグループ訓練(作業療法)開始 ・生活版ジョブコーチ事業
<p>その他の支援活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内スーパー(イオン、バロー)に1ヶ月間のパンフレット配置(5月、7月、11月) ・県内コンビニ(ファミリーマート)に1ヶ月間のパンフレットの配置(8月) ・富山テレビ取材対応(10月17日放送) ・とやまふれあいフェスティバルポスター掲示、パンフレット配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内スーパー(イオン、バロー)パンフレット配置(6月、8月、9月) ・県内コンビニ(サークルKサンクス)ポスター配置(11月) ・センター見学対応(病院、福祉センター) 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内スーパー、コンビニ、パンフレット配布(6月、8月、9月) ・県内スーパー、コンビニ、ポスター配布(12月、1月)
<p>その他(学会発表等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第49回日本リハビリテーション医学会学術集会「高次脳機能障害者に対する支援と神経心理学的検査結果の推移」 「若年発症の高次脳機能障害者における家族エンパワメントの評価」 ・第20回職業リハビリテーション研究発表会「高次脳機能障害者の就労支援の成果と課題」 ・リハビリテーション・ケア合同研究大会札幌2012 「遂行機能障害者に対する復職への関わり～傾聴や計画についての教示により作業活動の自己決定が意欲的な行動変化を呈した1例～」 	<ul style="list-style-type: none"> ・第21回職業リハビリテーション研究発表会「高次脳機能障害者の就労支援機関との情報共有の在り方について」 ・第13回東海北陸作業療法士学会・公開シンポジウム「当院における高次脳機能障害者グループ訓練の現状と課題」 ・第6回運転と認知機能研究会「装着型センサを用いた高次脳機能障害者の運転技能評価～交差点での左右確認動作～」 	<ul style="list-style-type: none"> ・第7回 運転と認知機能研究会「装着型センサを用いた高次脳機能障害者の実車運転技能評価～車線変更、減速、左右確認動作での問題点～」 ・第51回日本リハビリテーション医学会学術集会「装着型センサを用いた高次脳機能障害者の運転技能評価システム～障害物回避場面での安全確認動作～」 「装着型センサによる高次脳機能障害者の実車運転評価～交差点での左右確認動作～」 「高次脳機能障害者本人・家族間のawarenessgap-PCRS(PatientCompetency Rating Scale)を用いた検討」 ・第15回富山県作業療法学会「生活行為向上マネジメントを用いたアプローチモデルの検討～高次脳機能障害グループ訓練への導入～」

2) 石川県高次脳機能障害者相談・支援センター事業実績

支援拠点 機関名	石川県高次脳機能障害者相談・支援センター（石川県リハビリテーションセンター内） Tel076-266-2188 平成19年4月15日開設		
支援コーディネーター(職種)	保健師・臨床心理士		
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
当事者・家族からの直接相談 (延べ件数)	電話：120件 来院/来所：94件 メール・書簡：4件 その他（訪問・出張・同行等）：20件 合計 238件	電話：155件 来院/来所：119件 メール・書簡：52件 その他（訪問・出張・同行等）：17件 合計 343件	電話：165件 来院/来所：112件 メール・書簡：52件 その他（訪問・出張・同行等）：4件 合計 333件
機関・施設等からの間接相談 (延べ件数)	電話：280件 来院/来所 74件 メール・書簡 36件 その他（訪問・出張・同行等）：58件 合計 448件	電話：371件 来院/来所 88件 メール・書簡 31件 その他（訪問・出張・同行等）：74件 合計 564件	電話：269件 来院/来所 58件 メール・書簡 54件 その他（訪問・出張・同行等）：59件 合計 440件
主催した会合	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室（3回） 対象者：高次脳機能障害者の家族 参加人数：延べ34名 ・生活支援教室（週1回 延べ48回） 対象者：高次脳機能障害者 参加人数：延べ434名 実11名 ・研修会 対象者：県内の高次脳機能障害者のリハビリテーション、相談支援従事者等 参加人数：141名 ・支援関係者連絡会（3ヶ所にて実施） 対象者：市町、医療機関、相談支援事業所、障害者関連施設、障害者就業・生活支援センター、ハローワーク、保健福祉センター等 参加人数：54名 ・ケース会議（54回） 対象者：作業療法士、就労支援事業所、障害者職業センター等関係機関職員 参加人数：延べ316名 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室（3回） 対象者：高次脳機能障害者の家族 参加人数：延べ28名 ・生活支援教室（週1回 延べ49回） 対象者：高次脳機能障害者 参加人数：延べ389名 実11名 ・高次脳機能障害普及啓発研修会 対象者：当事者、家族、医療機関、就労関係機関、市町、保健福祉センター等 参加人数：81名 ・ケース会議（60回） 対象者：作業療法士、医療機関、就労支援事業所、学校等 参加人数：延べ422名 ・専門職研修（1回） 対象者：県内のリハビリテーション専門職、相談支援事業者等 参加人数：33名 ・支援関係者連絡会（1回） 対象者：市町、医療機関、相談支援事業所、介護支援事業所、障害者関連施設、就労関係機関、保健福祉センター等 参加人数：50名 ・地域リハビリテーション推進検討会議（1回） 対象者：学識経験者、地域リハビリテーション関係機関、団体の代表者等 参加人数；24名 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室（2回） 対象者：高次脳機能障害者の家族 参加人数：延べ43名 ・生活支援教室（週1回 延べ50回） 対象者：高次脳機能障害者 参加人数：延べ297名 実8名 ・石川県高次脳機能障害リハビリテーション講習会（1回） 対象者：当事者・家族、医療・福祉・就労関係者、一般県民 参加人数：128名 ・専門職研修（1回） 対象者：県内のリハビリテーション専門職 参加人数：69名 ・就労相談会（1回） 対象者：難病・高次脳機能障害者、家族、支援関係者 参加人数：17名 ・ケース会議（46回） 対象者：医療機関、行政機関、就労支援事業所、作業療法士 参加人数：延べ359名 ・平成26年度高次脳機能障害支援関係者連絡会（1回） 対象者：市町、医療機関、相談支援事業所、介護支援事業所、障害者関連施設、就労関係機関、保健福祉センター等 参加人数：72名 ・地域リハビリテーション推進検討会議（1回） 対象者学識経験者、地域リハビリテーション関係機関、団体の代表者等 参加人数：17名

<p>協力した 会合</p>	<p>その他研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援普及事業第1、2回支援コーディネーター全国会議 ・第1、2回高次脳機能障害支援普及事業支援普及全国連絡協議会 ・脳外傷友の会第12回全国大会 ・平成24年度北陸ブロック連絡協議会 ・平成24年度高次脳機能障害講演会 ・介護支援専門員連絡会 ・高次脳機能障害支援情報マップ作成事業会議 <p>ケース会議への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議32回 	<p>その他研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援普及事業第1回支援コーディネーター全国会議 ・第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会 ・高次脳機能障害支援普及事業第2回支援コーディネーター全国会議 ・第2回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会 ・平成25年度北陸ブロック連絡協議会 ・高次脳機能障害支援情報マップ作成事業企画会議 ・高次脳機能障害研修会（教職員等対象） ・県自立支援協議会 <p>ケース会議への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加件数 35回 	<p>講師協力した会合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援普及事業第1回支援コーディネーター全国会議 ・第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会 ・富山県高次脳機能障害者就労・生活支援ネットワーク会議 ・平成26年度北陸ブロック連絡協議会 ・福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・学童期・青年期にある高次脳機能障害者に対する総合的な支援に関する研究 ワーキング会議 ・学童期・青年期にある高次脳機能障害者に対する総合的な支援に関する研究 北陸合同会議 <p>その他研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害に関する研修会（2回）（障害者施設、医療機関職員対象） ・石川県障害者相談支援従事者研修（相談支援専門員対象） ・NASVAによる家族交流会（2回） ・精神保健福祉担当者連絡会 <p>ケース会議への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加件数 25回
<p>広報・啓発活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット、ホームページ、センターニュースの発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ掲載 ・パンフレット配布 ・センターニュース発行（年2回） ・書籍・DVD貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ掲載 ・パンフレット配布 ・センターニュース発行 ・書籍・DVD貸出
<p>調査・情報収集活動</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害実態調査 ・高次脳機能障害者支援情報マップ作成事業「高次脳機能障害のある方の対応に関するアンケート」 	<ul style="list-style-type: none"> ・学童期・青年期にある高次脳機能障害者に対する総合的な支援に関する研究
<p>診断評価・リハビリテーション等</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・自動車運転能力評価を石川県リハビリテーションセンターにて実施 <p>高次脳機能障害者 実14件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車運転能力評価を石川県リハビリテーションセンターにて実施 <p>高次脳機能障害者 実30件</p>
<p>その他の支援活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会支援
<p>学会発表等</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・第16回世界作業療法士連盟大会・第48回日本作業療法学会「学校現場における高次脳機能障害のある児童への作業療法士の関わり」

3) 福井県高次脳機能障害者支援センター事業実績

支援拠点 機関名	福井県高次脳機能障害者支援センター(福井総合クリニック内)Tel 0776-21-1300 平成20年5月15日開設		
支援コーディネーター (職種)	平成24年度 言語聴覚士、平成25年度～作業療法士		
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
当事者・家族 からの直接 相談 (延べ件数)	電話：879件 来院/来所：972件 メール・書簡：76件 その他(訪問・出張・同行等)：105件 合計 2032件	電話：1030件 来院/来所：1053件 メール・書簡：57件 その他(訪問・出張・同行等)：112件 合計 2252件	電話：1032件 来院/来所：1081件 メール・書簡：53件 その他(訪問・出張・同行等)：138件 合計 2304件
機関・施設等 からの間接 相談 (延べ件数)	電話：807件 来院/来所：25件 メール・書簡：135件 その他(訪問・出張・同行等)：70件 合計 1037件	電話：905件 来院/来所：8件 メール・書簡：69件 その他(訪問・出張・同行等)：41件 合計 1023件	電話：978件 来院/来所：15件 メール・書簡：112件 その他(訪問・出張・同行等)：50件 合計 1155件
主催した会 合	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害教室・交流会(12回) 対象者：家族・当事者、関係者 参加人数：一般96名 関係者19名 ・高次脳機能障害勉強会(39回) 対象者：新田塚医療福祉センター職員 参加人数：延べ725名 ・高次脳機能障害支援センター 運営会議(12回) 対象者：運営委員 参加人数：延べ198名 ・ケース会議(46回) 対象者：医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等 参加人数：延べ388名 ・高次脳機能障害セミナー(1回) 対象者：関係者 参加人数：101名 ・高次脳機能障害関係者研修(2回) 対象者：関係者 参加人数：71名 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害教室・交流会(12回) 対象者：家族・当事者、関係者 参加人数：一般144名 関係者47名 ・高次脳機能障害勉強会(35回) 対象者：新田塚医療福祉センター職員 参加人数：延べ469名 ・高次脳機能障害支援センター 運営会議(12回) 対象者：運営委員 参加人数：延べ180名 ・ケース会議(77回) 対象者：医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等 参加人数：延べ541名 ・高次脳機能障害セミナー(1回) 対象者：関係者 参加人数：61名 ・高次脳機能障害関係者研修(3回) 対象者：関係者 参加人数：56名 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害教室・交流会(12回) 対象者：家族・当事者、関係者 参加人数：一般名 関係者154名 ・高次脳機能障害勉強会(35回) 対象者：新田塚医療福祉センター職員 参加人数：延べ205名 ・高次脳機能障害支援センター 運営会議(12回) 対象者：運営委員 参加人数：延べ155名 ・ケース会議(40回) 対象者：医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等 参加人数：延べ305名 ・高次脳機能障害セミナー(1回) 対象者：関係者 参加人数：84名 ・高次脳機能障害関係者研修(2回) 対象者：関係者 参加人数：35名

<p>協力した会 合</p>	<p>講師協力した会合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度全国地域リハビリテーション合同研修会福井講演 「地域活性化への課題～高次脳機能障害への支援から見えてきたこと」 ・日医認定健康スポーツ医再研究会・産業医研修会講演 「高次脳機能障害のリハビリテーションと就学・就労」 ・精神神経セミナー講演 「頭部外傷とてんかん」 ・若越みどりの村職員研修会講演 「高次脳機能障害の基本的理解と支援のあり方について」 <p>その他研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・福井県奥越地区自立支援協議会 ・高次脳機能障害支援普及事業支援普及全国連絡協議会 ・高次脳機能障害支援普及事業支援コーディネーター全国会議 ・平成24年度北陸ブロック連絡調整会議 ・高次脳機能障害者支援情報マップ作成事業会議 <p>ケース会議への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部からの依頼にて49回参加 	<p>講師協力した会合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度福井県相談支援従事者現任研修 講師 ・嶺南障害者就業・生活支援センターひびき関係機関連絡調整会議 ・2013年度大学連携リーグ連携企画講座「言語聴覚療法の現状と取組～福井県における高次脳機能障害」 ・第6回北陸三県診療放射線技師学術研修会 <p>その他研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・高次脳機能障害支援普及事業支援普及全国連絡協議会 ・高次脳機能障害支援普及事業支援コーディネーター全国会議 ・平成25年度北陸ブロック連絡調整会議 ・高次脳機能障害者支援情報マップ作成事業会議 ・第1回 自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究会 ・第10回 富山県高次脳機能障害リハビリテーション講習会「高次脳機能障害者の世界」 ・平成25年度福井障害者就業・生活支援センター 関係機関連絡調整会議 ・平成25年度福井市障害者地域自立支援協議会 <p>ケース会議への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部からの依頼にて25回参加 	<p>講師協力した会合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援普及事業第1回支援コーディネーター会議「福井県高次脳機能障害支援センター活動報告」 ・坂井地区勉強会「高次脳機能障害に対する支援とその現状」 ・福井労働局勉強会「高次脳機能障害の特性と支援」 ・嶺南障害者就業・生活支援センター第1回関係機関連絡調整会議「高次脳機能障害の特性と支援」 ・高次脳機能障害講演会（富山）「見えない障害とは？～高次脳機能障害の理解と対応～」 ・富山県高次脳機能障害関係者研修 「高次脳機能障害の神経心理学的検査～実施のポイントと解釈～」 ・協発発酵キリン社内勉強会（福井） 「脳卒中後遺症に対するIntensive Rehabilitation」 <p>その他研修・会合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・高次脳機能障害支援普及事業支援普及全国連絡協議会 ・高次脳機能障害支援普及事業支援コーディネーター全国会議 ・平成26年度北陸ブロック連絡調整会議 ・平成26年度福井障害者就業・生活支援センター 関係機関連絡調整会議 ・平成26年度福井市障害者地域自立支援協議会就労支援部会 ・石川県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・言語聴覚療法とワーキングメモリー <p>ケース会議への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部からの依頼にて42回参加
--------------------	--	--	--

<p>広報・啓発活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害チェックリストの配布、使用 ・パンフレット(第4版)、リーフレット改訂の配布 ・ホームページ随時更新 ・神経心理検査用具レンタル ・書籍・DVDレンタル ・支援センターニュース発行(No. 52～68) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害チェックリストの配布、使用 ・パンフレット(第4版)、リーフレット改訂の配布 ・ホームページ随時更新 ・神経心理検査用具レンタル ・書籍・DVDレンタル ・支援センターニュース発行(No. 73～78) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害チェックリストの配布、使用 ・パンフレット(第4版)、リーフレット改訂の配布 ・ホームページ随時更新 ・神経心理検査用具レンタル ・書籍・DVDレンタル ・支援センターニュース発行(No. 76～78)
<p>調査・情報収集活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・脳損傷者の自動車運転再開時における医療機関の取り組みに関する調査 ・高次脳機能障害者支援情報マップ作成事業「高次脳機能障害を持つ方の対応に関する調査(1次調査)」 	<ul style="list-style-type: none"> ・脳損傷者の自動車運転再開時における医療機関の取り組みに関する調査 ・高次脳機能障害者支援情報マップ作成事業「高次脳機能障害を持つ方の対応に関する調査(2次調査)」 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害患者数調査 ・学童期・青年期にある高次脳機能障害者に対する総合的な支援に関する研究
<p>診断評価・リハビリテーション等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福井総合病院及び福井総合クリニックにて、他の医療機関と連携して実施 ・集団リハビリテーション (月:13時～14時、水:13時～16時半) 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井総合病院及び福井総合クリニックにて、他の医療機関と連携して実施 ・集団リハビリテーション (月:13時～14時、水:13時～16時半) 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井総合病院及び福井総合クリニックにて、他の医療機関と連携して実施 ・集団リハビリテーション (月:13時～14時、水:13時～16時半)
<p>その他の支援活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県脳外傷友の会「福笑井」(福井県高次脳機能障害者と家族の会)運営協力 ・新聞社の取材対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県脳外傷友の会「福笑井」(福井県高次脳機能障害者と家族の会)運営協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県脳外傷友の会「福笑井」(福井県高次脳機能障害者と家族の会)運営協力
<p>その他(学会発表等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第37回日本脳卒中学会総会発表「高次脳機能障害を伴う脳卒中患者の就労に関する因子」 ・第49回日本リハビリテーション医学会学術集会発表「高次脳機能障害を有する高校生の復学における問題点」 ・第139回国治研セミナー発表「高次脳機能障害の言語聴覚療法」 ・日本脳外傷友の会第12回全国大会2012 in とやまシンポジウム「シンポジウムⅡ心から心へ～理解しあえる安心感の持てる関係～」 ・リハビリテーション・ケア合同研究大会札幌2012発表「脳損傷者の自動車運転能評価～神経心理検査による運転適性指標の検討」 「運動が注意機能に与える影響について～注意障害を認める患者での比較～」 「当院での脳卒中退院指導の取り組み」 ・第12回北陸言語聴覚学術集会発表、シンポジウム「音韻性錯誤・音断片を主体とする失語症の1例—音韻性失名詞との比較—」 「高次脳機能障害および認知症患者における疲労度の検討—発話音声分析装置 CENTE の使用経験—」 シンポジウム: 「高次脳機能障害者の復職、就労、障害受容について」 ・第36回日本高次脳機能障害学会学術総会発表「高次脳機能障害者の就労に関連する因子」 	<ul style="list-style-type: none"> ・第50回日本リハビリテーション医学会学術集会「高次脳機能障害を主訴とした脳炎後遺症患者への支援」 ・第5回脳梗塞学術懇話会「脳損傷患者の運転再開について」 ・第34回日本リハビリテーション医学会 北陸地方会「同時失認と街並失認を来した右後大脳動脈領域梗塞の一例」 ・ストラテジーの異なる語生成時の脳活動とワーキングメモリー容量の個人差の関係～fMRI 研究～ ・Relationship between Brain Activity in Word Generation under Different Strategies and Individual Difference of Working Memory Capacity: An fMRI study ・リハビリテーション・ケア合同研究大会 千葉 2013「疲労が注意力に与える影響」 ・第14回日本言語聴覚学会「失名詞失語と音韻性失名詞の呼称における誤反応分析」 	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法31巻5号掲載「遂行機能障害機能障害を有する患者への理学療法士の関わり」 ・第12回福井県言語聴覚学術集会「辺縁系脳炎により地誌的障害を呈した一症例」 ・第15回日本言語聴覚学会「自発描画、自発書字が可能であるのに、描写ができない地誌的障害の一症例」 「言語性ワーキングメモリー機能および語流暢性機能の側性化について—脳血管障害者を対象として—」 ・第2回自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究会「自動車運転時の脳神経活動」 ・第8回新田塚医療福祉センターリハ・ケア研究会「高次脳機能障害者に対する集団リハビリテーションの帰結と要因の検討」 「病識低下により就労において現実感を持つことが困難であった症例」 「急性期病棟看護師の高次脳機能障害に対する認識—質問紙調査報告」 「重度高次脳機能障害患者に生活行為向上マネジメントを試み、意欲向上を認めた一例」

3. 個別研究

平成 24 年度

- 研究 1. 当センターの高次脳機能障害者グループ訓練
- 研究 2. 「高次脳機能障害者における一般就労とウェクスラー記憶検査の下位項目との関係～職種マップの有用性～」
- 研究 3. 「遂行機能障害を呈した症例に対する職業復帰への取り組み～傾聴により作業活動の自己決定が意欲的な行動変化をもたらした一例～」
- 研究 4. 「高次脳機能障害を伴う脳卒中患者の就労に関連する因子」
- 研究 5. 「高次脳機能障害を有する高校生の復学における問題点」
- 研究 6. 「脳損傷者の自動車運転能評価～神経心理検査による運転適性指標の検討」
- 研究 7. 「音断片・音韻性錯語を主体とした一例～音韻性失名詞との比較～」
- 研究 8. 「高次脳機能障害および認知症患者における疲労度の検討～発話音声分析装置 CENTE の使用経験～」
- 研究 9. 「高次脳機能障害者の就労に関連する因子」

平成 25 年度

- 研究 1. 「装着型センサを用いた高次脳機能障害者の運転能力評価」
- 研究 2. 「面談方式ピア・サポートによる家族支援の試み」
- 研究 3. 「高次脳機能障害者本人・家族間の awareness gap
－PCRS(Patient Competency Rating Scale)を用いた検討－」
- 研究 4. 「当院における高次脳機能障害者グループ訓練の現状と課題」
- 研究 5. 「高次脳機能障害を主訴とした脳炎後遺症患者への支援」
- 研究 6. 「同時失認と街並失認を来した右後大脳動脈領域梗塞の一例」
- 研究 7. 「疲労が注意力へ与える影響」
- 研究 8. 「失名詞失語と音韻性失名詞の呼称における誤反応分析」
- 研究 9. 「ストラテジーの異なる語生成時の脳活動とワーキングメモリー容量の個人差の関係～fMRI 研究～」
- 研究 10. 「Relationship between Brain Activity in Word Generation under Different Strategies and Individual Difference of Working Memory Capacity : An fMRI study」

平成 26 年度

- 研究 1. 「装着型センサを用いた高次脳機能障害者の実車運転技能評価～車線変更、減速、左右確認動作での問題点～」
- 研究 2. 「面談型ピア・サポート事業報告
－ピア相談員は来談者の語りにどのように反応するのか－」
- 研究 3. 「Patient Competency Rating Scale を用いた高次脳機能障害の病識評価」
- 研究 4. 「脳障害者の自動車運転再開支援～自動車学校や運転免許センターとの連携～」
- 研究 5. 「生活行為向上マネジメントを用いたアプローチモデルの検討
－高次脳機能障害グループ訓練への導入－」
- 研究 6. 「学校現場における高次脳機能障害のある児童への作業療法士の関わり」
- 研究 7. 「辺縁系脳炎により地誌的障害を呈した一症例」
- 研究 8. 「自発描画、自発書字が可能であるのに模写ができない地誌的障害の一症例」
- 研究 9. 「高次脳機能障害者に対する集団リハビリテーションの帰結と要因の検討」
- 研究 10. 「病識低下により就労に現実感を持つことが困難であった症例」
- 研究 11. 「急性期病棟看護師の高次脳機能障害に対する認識 ～質問紙調査報告～」
- 研究 12. 「重度高次機能障害患者に生活行為向上マネジメントを試み、意欲向上を認めた一例」
- 研究 13. 「失行に対するリハビリテーションの一例」

Dまとめおよび考察

1) 各県支援センターの3年間のまとめ

従来の事業に加え、各県が重点的に取り組んできた事業を中心に総括する。

① 富山県

24年度に開始した生活版ジョブコーチ事業により、複数の作業療法士を支援センターの併任とすることにより、退院後の生活上の問題点の解決、支援を行うことができた。対象者は徐々に増加したが現行の診療報酬上の問題もあり、必ずしも一般化されておらず、今後の問題を残している。

25年度にピアカウンセリング事業を開始した。この事業は、家族の会「高志」のメンバー3名をピア・サポーターとして、学識経験者にスーパーヴァイズを任命し、当センターに臨床心理士がコーディネーターとして活動している。25年度には7名、26年度には9名の申込みがあり、カウンセリング後の反省会を含め熱心に取り組んでいる。この事業は生活・就労支援の開始にあたっての家族の不安を和らげ、その後の支援に繋げる重要な役割を果たしている。そして、家族会と支援センターとの関係も「支援する側、される側」から「互いに協力する」関係に変貌したように思われる。

就労支援にあたっては、支援関係機関との「就労支援パス」が有効に働きだし、支援ネットワーク会議においても事例の検討などでは活発な議論がなされ、県内での支援機関との顔の見える連携ができてきた。今後の課題はネットワークへの企業側の参加であり、27年度には実現する見通しである。

研究として自動車実車運転評価と高次脳機能障害者の「自己認識」に関する研究を主に行ってきた。現在もPCRSによる評価の妥当性と支援への有効性などを検討中である。

自動車運転評価については県立大学工学部や運転免許センターとの連携を図り、装着型センサを使用した実車による自動車運転評価・支援を行ってきた。24年度には健常者を、25年度には高次脳機能障害者を対象とした教習所コースでの運転評価を行うことができた。それらのデータと神経生理学的検査結果との関係を検討しながら、高次脳機能障害者の運転特性が授受に解明されてきた。また、26年度からは産業医大の自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究班に参加して簡易自動車運転シミュレータでの評価とともに自動車運転教習所との連携を図っている。

② 石川県

ケース会議を年間50回前後開催し、就労支援事業所、障害者職業センター等の関係機関職員との連携を図ってきた。生活支援教室では当事者の生活能力の向上のみならず、社会参加への意欲や病態認識の獲得にも良い影響を与えており、終了後に20名前後の人が復職や復学、福祉的就労などの生活の安定を得ることができた。

石川県下の支援機関との連携を目指して連絡会や研修会を開催し、活動報告と意見交換を行ってきた。その一環として家族教室をセンター開設当初から開催し、家族の交流や障害理解の促進を図っている。また、26年度には学校現場における高次脳機能障害児童に対してリハビリテーション専門職が係わる取り組みを行い、児童の学習・生活面で主体的な自立度の高い学校生活の実現につなぐことができた。

研究面では平成25年度に医療機関、障害福祉機関、介護保険機関に対して行った高次脳機能障害実態調査(452事例)を行った。その結果、発症後に退学・離職が32%、休学・休職は8%であったが、それらの者のうち就労支援機関の利用者はわずか6%と少なく、支援上の課題が明らかになった。

③ 福井県

高次脳機能障害者のリハビリテーション・プログラムの充実を検討してきており、26年度には患者用の外泊チェックリストの活用を図り、26年度には高次脳機能障害データベースの作成に向けて、データの蓄積を開始した。

脳外傷友の会「福笑井」への支援を継続しているが、友の会の課題として子どもや就労年齢の方の入会が少なく会員の高齢化が進んでいることがあり、対策を検討している。

研究面では、24年度は高次脳機能障害者の自動車運転能力評価をドライビング・シミュレータ用い

て行うとともに、アンケート調査を実施し運転に関する当事者・家族のニーズを明らかにした。また、脳損傷者の自動車運転再開時における医療機関の取り組みに関するアンケート調査を実施した。25年度にはドライビング・シミュレータを活用し、評価マニュアルの作成・更新を行った。「自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究班」への参加・協力を行った。

高次脳機能障害患者数調査を定期的に行ってきたが、26年度には福井県内医療機関を対象にアンケート調査を行った。福井県内の高次脳機能障害患者数は入院・通院合わせて707名（アンケート回収率53.8%）であった。しかし、この数字以上の患者が存在しており、調査に反映されない人たちへの今後の対応が課題である。

現在、県内の支援モデルとしては、評価・診断については、一つの拠点機関に集約され、適切に評価・診断を行った後に、各圏域へと各種支援の依頼を行うといった形が出来つつある。県内の地域格差の解消への対策として、この支援モデルを基礎として、各圏域へと戻った後に、適切に支援が行われるよう体制を強化していく予定である。

2) 北陸3県での合同事業のまとめ

① 北陸ブロック会議

毎年1回、各県の輪番制で開催してきた。24年度は富山県、25年度は石川県、26年度は福井県で開催した。会議では毎年、各県から現状報告に続いて事例検討と意見交換を行った。また、北陸3県での合同事業についての報告、検討を行った。24・25年度には高次脳機能障害者支援情報マップ作成事業、26年度には学童期・青年期にある高次脳機能障害者に対する総合的な支援に関する研究事業の報告があった。会議において今後の課題等について協議、情報交換を行い、会議終了後には高次脳機能障害に関する研修会を開催した。この会議は互いの活動の優位点を認め合い、それを各自の県で取り入れるための情報が得られ、大変有意義であった。また、各県の行政官の参加が得られ、各県の取り組みの報告もあり有意義であった。

お互い、各県での事業のノウハウを学びながら3県での支援内容の均霑化を図ってきた。本事業の終了後も、北陸3県の協議会は継続していく予定である。

② 高次脳機能障害者支援情報マップ作成事業

千葉リハビリテーションセンターでの高次脳機能障害者支援情報マップ作成事業「高次脳機能障害を持つ方の対応に関する調査」を北陸3県の支援センターが共同で参加した。24年度には高次脳機能障害を持つ方の対応に関する調査(1次調査)を、25年度には北陸3県で二次調査を行い、各支援機関において最終的なまとめを行った。

③ 「2015年度自賠責運用益拠出事業 学童期・青年期にある高次脳機能障害者に対する総合的な支援に関する研究」は富山県高次脳機能障害支援センターが受託した上記の事業である。全国4施設とともに北陸3県での合同調査研究として、その一環としての「青年期における就労定着支援プログラム」を26年度から行うことになった。26年度には調査対象者の選び出しと調査票の作成を行った。27年度には調査結果の解析とともに支援プログラムの作成と試行を、28年度には小児期発症の高次脳機能障害者のライフステージ毎の支援プログラムモデルを公表していきたいと思っている。

支援センターが開設されて8～9年になった。3県とも少しずつだが高次脳機能障害者の方々のお役に立てるようになってきたと感じられるようになった。しかし、課題は頑張れば頑張るほど出てきて、「これで十分」と言ったことがない。今後も、3県が連携して一步一步着実に進んでいきたい。